

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
プログラミング応用 Application of Computer Programming		情報メディア学科	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	日置 智子	
概要				
関数やポインタ等のC言語の文法を学ぶと共に、オリジナルプログラムの作成を行うことによりコンピュータを用いた問題解決能力を身に付ける。				
到達目標				
(1) 関数とポインタの役割について説明できる。 (2) C言語で構成された応用的なプログラムの処理内容を説明できる。 (3) C言語を使用して応用的なプログラムが作成できる。				
授業内容とすすめ方				
1 オリエンテーション 2 基本的な文法の復習 ー標準関数、条件分岐、繰り返しー 3 基本的な文法の復習 ー配列ー 4 関数① ー関数とはー 5 関数② ー関数の呼び出しと引数ー 6 関数③ ー返却値ー 7 関数④ ー配列の受け渡しー 8 静的変数、外部変数 9 乱数 10 ポインタ① ーポインタとはー 11 ポインタ② ーポインタの使い方ー 12 ポインタ③ ーポインタと配列ー 13 構造体 14 問題演習 15 まとめ				
テキストおよび 参考文献	テキスト：柴田 望洋「新 明解C言語 入門編」ソフトバンククリエイティブ (株) 適宜資料を配布			
メッセージ など	本講義を受講する前に「プログラミング基礎」で学んだC言語の基本的な文法を復習しておいて下さい。			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 関数とポインタの役割について説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の説明はできる。	説明できていない。	授業への取り組み・試験（知識・理解・思考力・判断力）	20%
(2) C 言語で構成された応用的なプログラムの処理内容を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の説明はできる。	説明できていない。	定期試験（知識・理解）	60%
(3) C 言語を使用して応用的なプログラムが作成できる。	ほぼ完璧にプログラムを作成できる。	大きな間違いがなく、プログラムを作成できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を踏まえたプログラムを作成できる。	プログラムを作成できない。	授業への取り組み（知識・理解・思考力・判断力）	20%